

## ジャッジブリーフィングでの説明内容

### ■ 選手に対しての口頭での説明内容（以下に加えて、要項内のルールを確認します）

【試合時間に関して】一日目は以下の通り。

- ・ preparation time 20分
- ・ const 5分
- ・ POI の protected time、スピーチ時間の 30 秒前後
- ・ 万が一大会スケジュールで大幅な遅延が発生した場合、予選第 4 試合を行わずに、第 3 試合までの結果で決勝トーナメント進出校を決める場合があります

【ルールに関して】

- ・ 電子機器の使用が発覚した場合、その選手が所属する学校は一年間HPDUが開催する大会には参加できなくなります。絶対にやらないでください。（第 10 回 連盟杯よりの申し合わせ事項）
- ・ 禁止事項については、大会の要項内で明文化されています。それに準じるものとして、パンフレット内の注意事項の記述があります。必ず一読しておいてください。

【そのほか】 例年、(補足として)言っていること:

「definition challenge はしても良いけど、definition で紛糾するような論題はあらかじめ出さないように配慮しています。論題の意図を素直に読み取り、ほぼ論題そのままですら試合をしてもらえればと思います」

## 【スコアの付け方】

### 【高校生大会に基本のつけかた】

- ・スコアの形式は75標準で、通常の大会と同様。
- ・具体的な点数の与え方: (1~6基準を75標準におきかえたもの。  
e.g. 基本: 78, 77, 76, 75, 74, 73, (注 Reply Speech は、点数入力では半分に)  
e.g. 80, 78, 77, 75, 75, 75, (80はベストスピーカーと判断する場合)

- ・ジャッジ入力の数値:  
Constructive speech [score range] 70~82で、1点刻み。  
Reply speech [score range] 35~41で、0.5刻み。  
(82上限にするのは、82が過去にHPDUの大会でもらった人がいる最高値なので)

- ・NO POI penalty
- ・Definition challenge: 無いと前提

### 【本大会での得点】

- ・平均スコアは、76.2程度
- ・本大会のマーキングレンジは、70~82
- ・それぞれのスコアの持つ大まかな意味については、ESUJのスコア説明を参照(別紙)

### 【予選大会での特殊な得点の意味】

- ・80は、大会のベストスピーカーとされるに値するパフォーマンスであったと判断した場合。
- ・79は、大会で個人成績入賞に値すると判断した場合につけてください。

\*この80と79の意味合いについては、実際の全ジャッジの点数の付けかたを確認し、おおまかに整合性がとれていると判断した場合、ディベーターに説明する可能性があります(「残念ながら自分は個人表彰の対象にはなれなかったけど、第3試合のジャッジさんは、この試合での自分のスピーチは表彰に値すると判断してくれたんだ。うれしい」というポジティブなフィードバックを与えるため)。

- ・82,81は基本的に個人スコアがチーム順位に影響を与えないブレイク라운드での、ディベーターへのご祝儀的なものです。予選大会では、基本的につけないようお願いいたします。  
(チーム成績、個人成績のランク決めにおいて、外れ値の様なふるまいをしてしまう恐れがあるため)

- ・今回の大会では、Low-winはありません。